



「中学二年の夏に思うこと」

校長 藤田 賢一郎

保護者、地域の皆様からご支援いただき、二学期も好スタートとなります。ありがとうございます。

夏休み中は東京2020オリンピック・パラリンピック選手のパフォーマンスの素晴らしさもさることながら、その生きざまに感動し、感化された生徒も多いと思います。8月25日の始業式では、願いを込めて、生徒に次のように語ります。

二学期が始まりました。まずは、皆さん全員が命にかかわるような大きな事故もなく二学期を迎えたことを喜びたいと思います。

さて、2009年、今から12年前に、ある中学2年生が書いた作文の一部を紹介します。

「今、僕がここに書いていることを、2019年の夏にも同じように思い、感じていたら、それは僕がこれからの十年を精一杯生きて証だと思う」

作者は、10年後の自分に向けて、これからの10年間の生き方を語ろうとしています。この後、作者は、小学校入学前に柔道を始めたこと、勝つことだけではない自分の信じる「柔道」を続けていきたいとの決意をもったことを述べています。そして、作文は次のように続きます。

「2009年夏、小学生の時に感じたあの思いは今も変わることなく僕の心の中にある。指導者になりたいという僕の思いはさらに強くなってきている。柔道部長になった今、その責任の重さを痛感している。みんなをまとめ引っ張っていくことの難しさ、自分の意見を言うだけでなく、周りの人の意見もきちんと聞き、支えられていることを常に忘れずに、感謝して行動しなければならないことに気付かされた。周りの人の意見を聞くことはとても大切なことだが、決して流されてはいけないこととの兼ね合いがなんとも難しい。行き過ぎると自分勝手だと思われるし、足りないと思われちゃう。」

また、柔道のことだけを考えていけばよいわけでもない。一応僕は中学生。勉強もしなくてはならない。文武両道とはよく言ったものだ。これがまたとても難しい。勉強に力を入れると柔道の稽古がおろそかになり、柔道の稽古に力を入れると勉強がおろそかになる。このバランスのととり方は僕の一生の課題になっていくことだろう。」

作者は、中学2年の自分自身を見つめなおした後に、作文を次のように締めくくっています。

「僕の目指す指導者になるためには、まだまだ学ばなければならないことがたくさんある。その基礎の段階が、まさしく今、中学校時代だと思う。勉強、柔道はもちろんだが、何事にも負けない強い精神力、やさしい心、思いやりの精神なども人として学ばなければならない大切なものだ。今の僕はこれらのことを頭では理解できているが、実際に行動するとなるとうまくいかないことが多い。」

僕は残りの中学校生活を大切に、さまざまなことを十分に学べるようにこれからも努力していきたいと思う。夢への近道はない。こつこつと努力をかさねた先に、僕の思い描いている夢があるはずだ。僕は、努力は裏切らないと信じている。

10年後もまだ努力の途中かも知れない。それでもいい。夢に向かって一つ一つ小さな目標を達成していけば、その夢は叶うはずだ。柔道の先生が言っていたことだ。小さな目標の一つも達成できなければ、夢には届かない、僕はこれからも、夢に少しでも近づけるように目標を一つ一つクリアしていくつもりだ。

これを読んでいる十年後の僕の価値観と今の僕の価値観が同じであってほしい。十年後もなお、小さな目標を一つ一つクリアしている自分であってほしい。そして大好きな柔道にかかわっている自分であることを心から願っている」

この作文(一部抜粋)の作者は、12年後、ちょうど先月、東京2020オリンピック柔道100キロ級金メダリストとなりました。そう、決勝を延長戦で一本勝ちしたウルフ・アロン選手です。

この作文は公開されていますので、興味のある人は、ウルフ・アロン選手が文京区立第一中学校2年生時に書いた「中学二年の夏に思うこと」全文を読んでみてください。

2学期が始まりました。皆さんは、この夏にどのようなことを思い、感じて、2学期を迎えましたか。12年前のウルフ・アロン選手のように、今、何をすべきか決意した人も多いことでしょう。2学期は一番長い学期。だからこそ、毎日の小さな目標の達成を積み重ねる好機です。

2学期の皆さんの活躍に大きく期待しています。

保護者・地域の皆様、今学期も温かなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

充実した2学期に向けて～鍛える！ 磨く！～

2学期は、体育祭、合唱祭、そして3年生の修学旅行など、様々な取組が予定されています。中学校では、現在、9月4日に行われる予定の体育祭に向けて、準備をすすめている真最中です。3年生は、1学期まで取り組んできた部活動の取組に気持ちの整理をつけ、後輩をリードしながら頑張っています。



各軍のパネルや体育祭スローガンが素敵に仕上がっています。魂のこもったそれぞれの作品の、本番での披露をお楽しみに！！

3軍対抗の体育祭に向けて ～準備進んでいます～

体育祭副実行委員長 S.Y

今年の体育祭は、熱中症と感染症の対策に加えて、例年がない「3軍編制」ということで、準備が大変になっています。しかし、僕たちは、その大変さを言い訳にせず、ここ数年で一番いい体育祭にしようと頑張っています。事前の準備で一番苦労しているのは、3軍ということによる各競技の組み合わせの工夫です。みんなで考えを出し合い、競技運営に影響なく実施できるようにしていきたいです。3軍編制での体育祭は、もしかすると、板倉中の歴史で最後になるかもしれません。3軍で行う良さが感じられる体育祭にして、体育祭が終わったとき、全校生徒1人1人が「良かった」「楽しかった」などと思えるように、副実行委員長として頑張ります。

昨年に引き続き、地域の方に会場へいらしていただけないのが残念です。しかし、僕らの熱い魂が地域の皆さんに届くような体育祭にします！

赤十字トレーニングセンターに参加しました

8月2日(月)に、大潟町中学校で令和3年度のリーダーシップトレーニングセンターが開催されました。5校の計14名の中学生と、指導者で行われた活動に、板倉中学校から、JRC委員会の正副委員長、高橋さんと松野さんが参加しました。



JRC委員長 T.Y

僕は今回、青少年赤十字のリーダーシップトレーニングセンターに参加して、他校の生徒と情報を交換したり、講師の方からのお話をうかがってきたりしてきました。他校の生徒との話し合いの場面で、板倉中学校で生かせそうなアイデアをいくつか見つけることができました。その中の1つに、1つの委員会で1つの活動をするのではなく、他の委員会と共同で行うということがありました。このアイデアを生かし、これからは他の委員会と共同で行う活動を増やして、活動をより充実させていきたいです。



がんばれ、後輩！県大会、地区コンクールを経験した3年生からのメッセージ

「大会で勝ち抜く力を身に付けるには？」

地区コンクールを終えて

吹奏楽部部长 I.N

コンクールを通して、私たちは、目標を達成するために練習を積み重ねることの大切さを改めて実感することができました。1, 2年生はこれからも練習を重ね、自分たちで演奏する機会を増やすなど、さまざまな形で活動範囲を広げていってほしいです。

県大会を終えて

卓球部部长 T.R

大会で勝ち抜いていくために必要なことは、日々の練習でたゆまずに努力することです。そして、その練習を見てくださる先生やコーチ、練習相手に感謝することです。そして、部員全員で活動を盛り上げていってください。部長は部員を引っ張り、あるべき姿を見せていってください。また、フォロアーは、声を出し、部長のリードにぴったりとくっついていってください。その団結力が部全体の力となり、勝ち抜く力につながるはずです。

県大会を終えて

陸上競技部副部长 O.K

県大会で勝ち抜いていくためには、練習から試合までの自分の1つ1つの行動を大切にすることが必要です。例えば、積極的な声出しや、素早い行動、仲間への協力など、当たり前のことの小さな積み重ねが、試合に大きく影響してくると思いました。

後輩のみなさん、今後、思ったような記録が出ず、くじけそうになるときがあるかもしれません。そのときは、そのことを引きずるのではなく、目標をまた1から立て、次のステージに進んでください。自分が積み上げてきた練習を信じ、仲間の応援を力に変えて、全ての力を出し切りましょう。僕たちと一緒に練習を頑張ってきた1, 2年生の皆さんなら、できると信じています。

県大会を終えて

バドミントン部部长 F.R

大会で勝ち抜いていくため必要だと感じたことは、気持ちで負けてはいけないということです。最初から弱気で試合に臨んでも絶対に勝てないので、自分に自信をもって、試合に挑んでください。そのために、後輩たちには、基礎練習を大切にしてほしいです。日頃の練習が大会の結果につながるのだから、自分に厳しく練習に取り組んでほしいです。

北信越大会、がんばりました！

3年 S.R

8月3日に行われた北信越大会に出場してきました。結果は7位で、記録は2分14秒でした。順位、記録ともに満足することができませんでした。極度の緊張から、足が全然動かなくて、周りのペースに巻き込まれてしまいました。北信越大会という大きな舞台上で走ることができたのは嬉しかったけれど、改めて、自分の実力のなさを実感しました。今後の大会で、この悔しさを晴らせるよう、頑張ります。たくさんの応援、ありがとうございました！

栄光の記録

◎上越地区吹奏楽コンクール 銅賞

◎新潟県総合体育大会

◇陸上競技

3年男子100m 第2位 M.T 共通男子200m 第2位 M.T

共通女子800m 第1位 S.R(3年) 共通女子200m 出場 S.R(準決勝惜敗)

共通男子110mH 出場 A.I(3年)(予選惜敗)

共通男子3000m 第6位 O.K(3年) 共通男子1500m 第9位 O.K

男子4×100mリレー 出場 N.S, M.T, N.K, S.K(予選惜敗)

◇卓球 男子シングルス H.D 2回戦 3-0魚沼北中に勝利、3回戦 0-3西川中に惜敗

◇バドミントン 男子団体戦 第3位

(S.H Y.K T.S H.H F.R S.H M.R S.M)

1回戦 白根第一中に 2-1で勝利 2回戦 高千中に 2-1で勝利

準決勝 燕中に 0-2で惜敗 北信越代表決定戦 笹神中に 0-2で惜敗

男子個人戦 ダブルス 1回戦 K・M組 0-2で岩室中に惜敗

M・U組 1-2で坂井輪中に惜敗

2回戦 F・S組 1-2で高千中に惜敗

◎北信越総合競技大会

◇陸上競技 3年男子100m 第2位 M.T

共通女子800m 第7位 S.R

9月の予定

3日(金) 体育祭予行・準備

4日(土) 体育祭

6日(月) 体育祭代休

8日(水) 学力UPWeek(～14日)

9日(木) 新人大会・駅伝大会壮行式

10日(金) 新人陸上大会

11日(土) テスト前部活動停止(～17日)

16日(木)・17日(金) 第2回定期テスト

20日(月) 敬老の日

22日(水) 合同駅伝大会

30日(木) 新人各種大会

部活動の設置数見直し・再編に向けた検討を始めます

現在、板倉中学校では7つの部活動を設置し、204人中181人(88%)が入部しています。どの部でも生徒が生き生きと活動していますが、全国的な生徒数の減少が板倉中学校でも顕著に表れており、現在のままでの部活動運営を継続することは難しい状況となっています。

そこで、次の理由から、板倉中学校でも、部活動の設置数見直しや再編に向けた検討を始めます。

理由1 生徒数の減少に伴い、各部活動の適正人数確保が困難になる

- ・令和元年度212名 →令和3年度204名 →令和6年度136名の予定(現小4～6年児童数から)
- ・学校単位での団体戦出場が困難。(野球部は、今年度新人大会に清里中との連合チームで出場予定。合同練習の場所やスケジュールの調整を行い、チーム作りを進めています)
- ・全県的な生徒数、部活動数の減少による試合や練習相手の減少(バドミントン部は、近年中に市内で、板倉中のみとなる予定です)

理由2 学級数の減少に伴う、教職員数(教諭数)の減少によって、部活動の安心・安全な運営や大会引率に必要な教諭数(各部2名以上)の確保が困難になる

- ・学級数の減少 令和元年度9学級 →令和3年度8学級 →令和4年度8～7学級(予定)
- ・教諭数の減少 令和元年度(9学級)14名 →令和4年度以降(7学級)11名

以上のように、板倉中学校では現在の7つの部活動を安心・安全に維持していくことが、困難になっていく状況が予想されます。このような状況を踏まえて、これから板倉中学校では総合的な判断の下、部活動の設置数や部活動運営についての見直しや再編に向けた検討を始めます。

これからも生徒たちが、学習や部活動に情熱を傾けていけるよう、ご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。